

つるが「鉄道と港」フェスティバルイヤー ～敦賀 鉄道の夜明け130年！～ オープニングセレモニーが開催

平成24年4月15日、旧敦賀駅舎（金ヶ崎緑地内）において、つるが「鉄道と港」フェスティバルイヤーオープニングセレモニーが開催されました。

平成24年度は、①敦賀ー長浜間鉄道開通130年、②敦賀ーウラジオストク定期航路110年、③欧亜国際連絡列車運行100年といった敦賀の鉄道と港の歴史にとって節目の年となることから、これを記念し開催されたものです。

冒頭に、「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会の田中完一会長から「敦賀の魅力を存分に発信し、一体感のある敦賀のまちづくりに寄与したい」とあいさつがあり、続いて河瀬一治市長から「敦賀の町が、鉄道と港の由緒ある町であるということを誇りに感じながら頑張りましょう」とあいさつがありました。

また、当セレモニーで敦賀港吹奏楽部の演奏や開業130周年の記念乗車券の説明などが行われました。

今後は、様々なイベントを行っている団体等と連携し、港まち敦賀の歴史と文化を再認識し、年間を通じた一体感のあるまちづくり活動を行う予定としており、33団体が45事業を来年3月にかけて繰り広げます。また、メインイベントは、7月20日の点灯式を皮切りに「光:イルミネーション」「食:鉄道浪漫の食の提供」「遊び:テーマパーク」「買う:アウトレットモール」などのイベントを演出・提供する予定です。



「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会
田中完一会長のあいさつ



河瀬一治 敦賀市長のあいさつ



会場全体の様子



風船を飛ばす式典参加者と子供たち